

金賞 白倉洋次君

北海道工業大学建築工学科

A Museum on Earthwork

多くの卒業設計を見てきた私にとって、今までに 3 つだけ特に印象に残っている。その印象作品は生涯私から離れる事はないであろう。去年の熊切君の作品と倉本君の作品、そして 3 つ目はこの作品である。この 3 つは全くちがう方向性をもっている。建築家として影響されたと言っても過言ではない。「A Museum on Earthwork」は水田の中に建つ建築である。いや、水田の中に建つ精神である。たかが、水田なのに刻々と変化する風景は人の中の「心」と同じである。光を見る又は感じる事は空間を見る事と同意語である。建築は光によって浮かびあがるのだが、この作品はそれだけでなく廻りの水田の水や作物や天気や季節によって浮かびあがる。こんなことを考えながら、都市の中にもこんなチャンスがあるのではと私をワクワクさせた。プレゼンテーションもさりげなく、秀逸である。ただただ素晴らしい。

(文責：中山 眞琴君)